

# スポーツ少年団とは

## 田辺市スポーツ少年団の状況

### ■競技別団体数

軟式野球	13
バレーボール	4
剣道	3
空手道	3
サッカー	2
ミニバスケットボール	2
柔道	2
少林寺拳法	2
陸上競技	1
テニス	1
器械体操	1
バスケットボール	1
ラグビー・フットボール	1
合気道	1

### ■団数・団員数

団数	37
団員数	413
種目数	14

※令和5年9月1日時点

スポーツ少年団は、昭和37年に「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設されました。昨年で創設60周年を迎え、全国の団数は約2万8千団、団員数は約55万人です。

田辺市スポーツ少年団は、昭和40年頃に設立されました。ここ20年ぐらいいは、多いときで44団体の登録がありました。子どもが減少とともに、団数、団員数とも減少しています。

### スポーツ少年団の理念

- 一人でも多くの青少年にスポーツの<sup>よろこ</sup>びを提供する
- スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

各スポーツ少年団には、講習を受け、スポーツ少年団の理念を持ち、資格を保有した指導者が2名以上います。



### 特集

## スポーツって楽しい!

ENJOY! SPORTS

スポーツを通して、子どもたちの心と体を育てるスポーツ少年団。今回は、市内のスポーツ少年団で活動している方々に楽しさや魅力を伺いました。



みんなで楽しく  
一生懸命に、  
いろんなことを  
学んでほしい

### 学びの場所

スポーツ少年団は、子どもたちの心や体を育てることはもちろんですが、学校では学べない様々なことを学べる大切な場所でもあると思います。

また、子どもだけではなく、保護者も同じようにつながりを広げ、子どもと一緒に学び、成長させてもらえる場所ではないでしょうか。

現在、私が代表を務めるバレーボールチームは、私の子どもが小学6年生と4年生のときに始まりました。チームの指導者として20年以上も携わってきました。

### 大切なこと

スポーツ少年団には、たくさんの競技がありますが、大切なことは、自分の好きなスポーツを見つけて「続けること」「楽しむこと」「友達を作ること」だと思います。また、長い間、活動を続けてこれているのは、保護者の皆さんの協力や理解があったからです。子どもだけでなく、大人も一緒に活動したいですね。

地域社会の中で誰もが参加しやすい居場所づくりをすることや、スポーツを通して地域づくりに貢献できるように、これからも頑張っていきたいです。



田辺市スポーツ少年団  
本部長 福市 一昭 さん

### 田辺市の運動部や地域スポーツへの所属状況（令和4年度）

#### ■小学生

所属している	60.5%
所属していない	39.5%

#### ■中学生

所属している	85.4%
所属していない	14.6%

▲60%以上の小学生は運動部や地域スポーツに所属しており、この数字は和歌山県の平均より高くなっています。中学生になると部活動が始まるので、多くの学生がスポーツを始めていることが分かります。

子どもの体力・運動能力が低下している？

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、小学生の体力合計点が令和元年度から年々低下傾向にあります。

これは運動時間の減少や学習以外のスクリーンタイム（テレビを視聴したりスマートフォンを使ったりして

過ごす時間）の増加、肥満傾向のある児童の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、さらに拍車がかかったことが理由だと考えられます。

一方で、スポーツをすることが好きな児童が増えたという調査結果も出ています。

## それぞれの思い

スポーツ少年団で活動している小学生お二人と、子どもの活動を応援する保護者、スポーツ少年団の指導者にお話を伺いました。



田辺 A C  
苑田 早弥佳さん（5年）

みんなと一緒に  
高め合える楽しさ

姉が先に田辺 A C で陸上をしてきたことがきっかけで陸上を始めました。大会で目標としているタイムや前の記録を越えることができた時はとても達成感があります。また私の走っている姿を見た友達に「すごいね」と褒めてくれた時には陸上をやっている良かったと思います。  
メンバーは色んな学校からも来ていて、地域を超えた交流ができることも楽しさの一つです。



チャレンジする  
気持ちが大事

何かスポーツをやってみて、かと思っていた時に友達に誘われ、5歳から梅干しジュニアクラブでラグビーを始めました。やっぱりトライを決めた時や試合に勝った時は最高にうれしいです。

試合中、自分自身でトライを決められるチャンスがあれば、「自分が決める」と強く思います。何事も失敗を恐れずにチャレンジするということ強い気持ちを持つことはここでの活動から教わりました。



梅干しジュニアクラブ  
寛座 晴士郎さん（6年）

## スポーツのススメ

子どもの頃にスポーツを始めるとなぜいいの？

26年間中学校でバスケットボールを指導し、元田辺・西牟婁学校体育連盟会長の高田さんにお話を伺いました。



元田辺・西牟婁  
学校体育連盟会長  
高田 修さん

スポーツを通して心・態度・身体の3つの部分が成長していきます。これは人としての土台となる部分であるため、大人になってもきつと自分を支えてくれるはずですよ。

顧問をしてきて、子どもたちの成長に無限の可能性を感じました。子どもたちには早くからいろんな経験を通して、自分の楽しめるスポーツを見つけ、自分を鍛えて成長していったほしいです。そして生涯にわたってスポーツを楽しんでほしいと思います。

### 子どもの育つ3つの部分

**1 心** 粘り強く努力する  
責任感を持つ  
仲間と励まし合い、協力する  
感謝する

**2 態度** けじめある行動  
掃除をきちんとする  
素直に聞く 物や人を大切にする  
気持ちのいい挨拶をする

**3 身体** 基礎体力の向上  
技能の向上

SPORTS ENJOY! SPORTS ENJOY! SPORTS

## スポーツ少年団員 随時募集中!

スポーツにはメリットがたくさんあります。  
ぜひこの機会に始めてみませんか。  
田辺市スポーツ少年団事務局  
(田辺スポーツパーク管理事務所内)  
☎ 0739 (25) 2531  
📄 <https://www.city.tanabe.lg.jp/sports/sportsshounen.html>



ENJOY! SPORTS

SPORTS ENJOY! SPORTS ENJOY! SPORTS

### 指導者の思い

今の子どもに合った  
楽しめる環境を

今の子どもたちに武道という硬い雰囲気での指導は合わないと考え、子どもたちがもっと自由に柔道を楽しめるような場所づくりを心掛けています。

大塔柔道会は、小中学生だけでなく、未就学児から高校生まで幅広い年齢の子どもたちが集まっています。

下の子たちが上級生を見て、練習に取り組む姿勢などを学びながら成長し、同じように下の子の手本となっていく、この良い伝統が受け継がれていくことを期待しています。



大塔柔道会  
物部 勇馬さん

### 保護者の思い

「上手くなる」  
が全てではない

子どもたちは、南紀ジュニアサッカークラブでリーグ戦や遠征を通じて、集団行動や仲間づくりの大切さを学ばせてもらっています。子どもだけでなく私たちもこの活動から学ぶことは多いです。

サッカーは上手くなるのが全てではなく、仲間が増え、人と人がつながっていくことも競技を続ける大きな意味を持っていると思います。子どもにはサッカーを通して得た経験を将来に生かしてもらいたいと思います。



南紀ジュニア  
サッカークラブ  
小島 寛さん